

じゅんかん
血液の循環ひょうじゅん
標準 ②血液の循環
じゅんかん

胸に手を当てると、どくん、どくんという動きを感じます。これは、心臓が血液を送り出している動きで、拍動はくどうといいます。

心臓は、にぎりこぶしほどの大きさで、じょうぶな筋肉でできています。心臓は、ちぢんだりゆるんだりをくり返し、ポンプのように、血液を体じゅうへ送り出しています。大人では、一分間に、およそ六十回から百回も拍動はくどうしています。

心臓から送り出された血液は、血管を通して、体のすみずみまで運ばれます。そして、酸素や養分をとどけ、かわりに、二酸化炭素などのいらなくなったものを受け取って、また心臓にもどってきます。心臓にもどった血液は、肺に送られ、二酸化炭素を出して、酸素を受け取ります。

このように、血液は、心臓のはたらきによって、体じゅうをめくり続けています。これを、血液の循環じゅんかんといいます。運動をすると、体はより多くの酸素や養分を必要とするので、心臓の拍動はくどうは速くなります。

手首などで感じられる、どくどくという動きを脈拍みやくはくといいます。脈拍は、心臓の拍動はくどうが、血管に伝わったものです。手首のほかに、首でも感じるができます。

1

心臓が血液を送り出している動きを、何とといいますか。



2

心臓は、何のようなたらきをしていますか。

ア ポンプ

イ スポンジ

ウ フィルター

3

体のすみずみに運ばれた血液は、どんなはたらきをしますか。

4

脈拍みやくはくとは、何が伝わったものですか。
